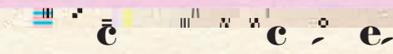
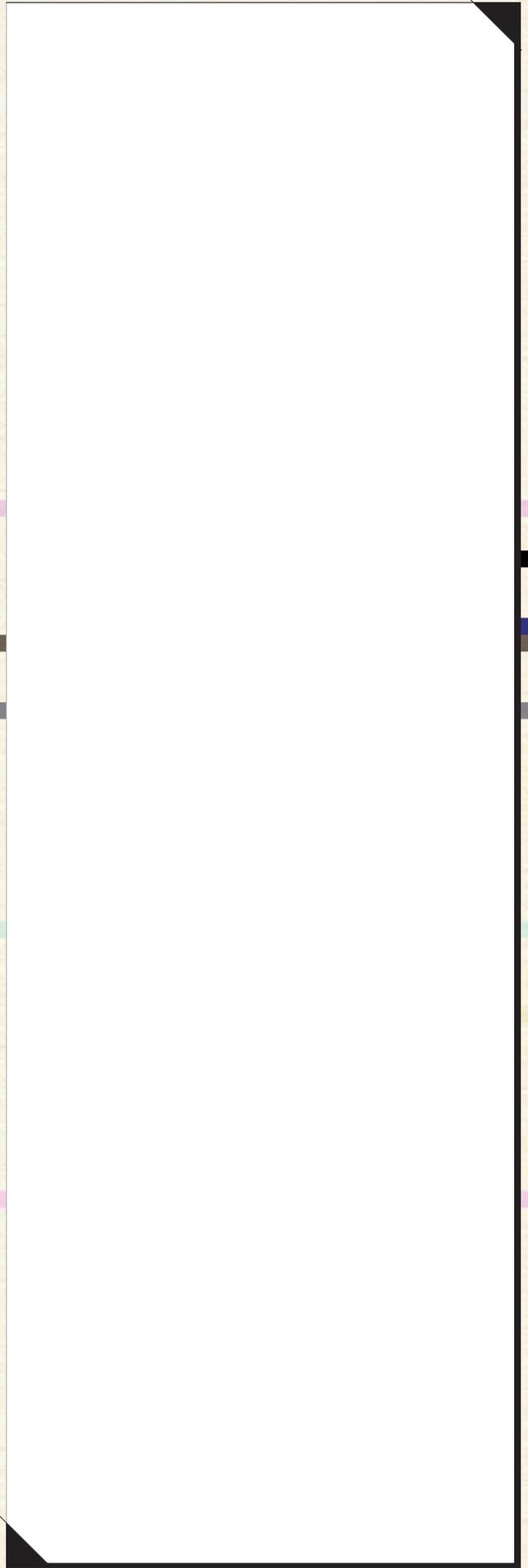
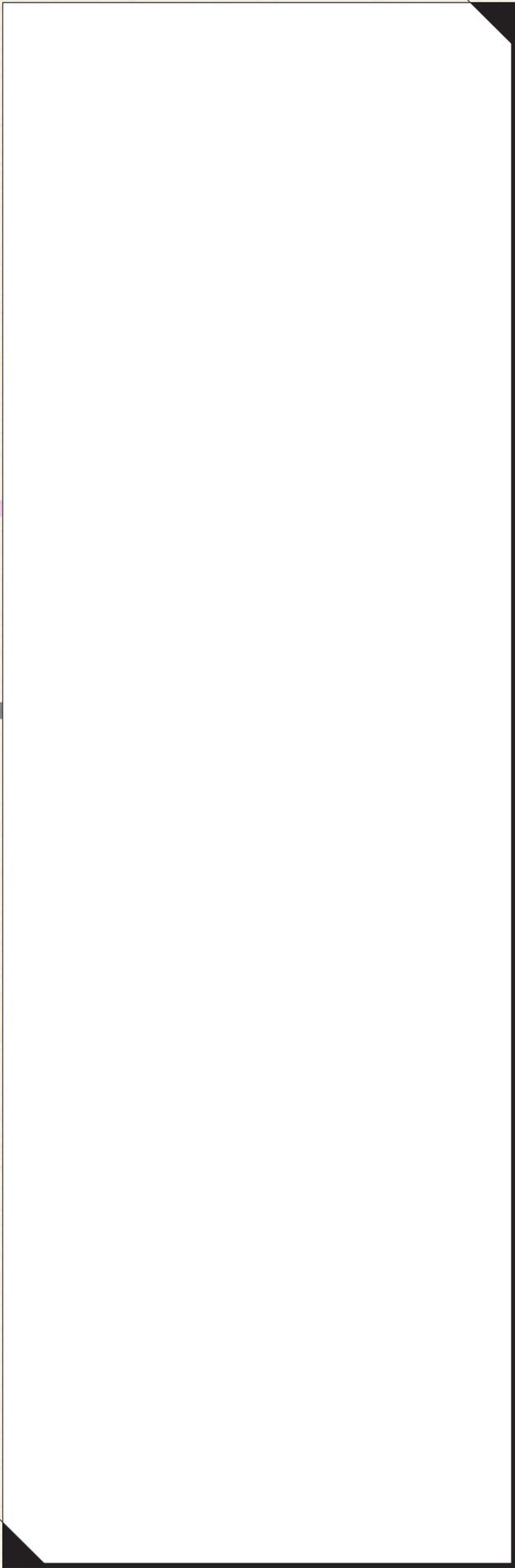


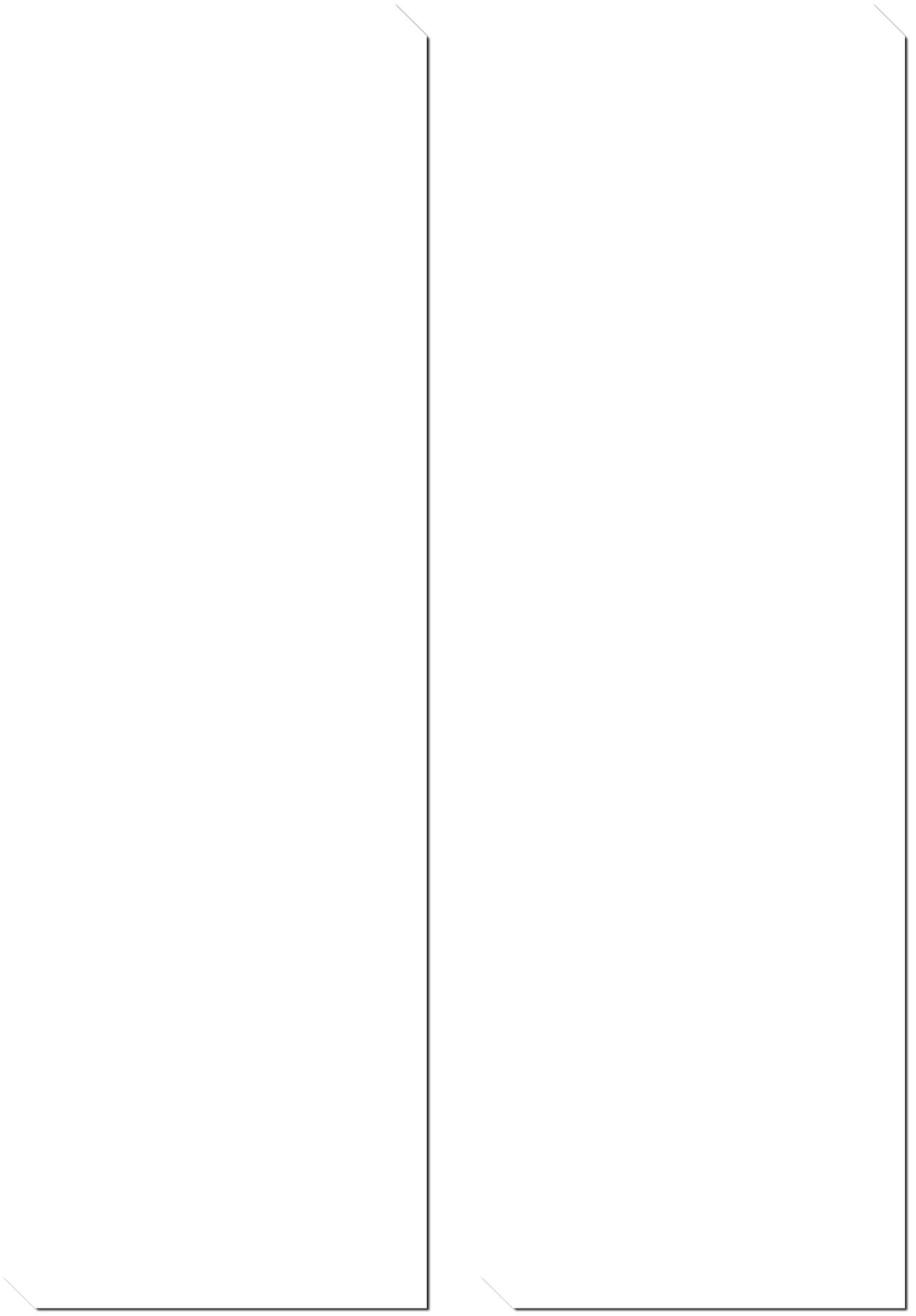
、今たい>樹 贏銃 豨 ば、今たツ媽鯁鉛罵論 V稍初 世韜 ò 遷殺 X { o 牙せ刺傑 X 邊輩受せ系ぶばせ殿> { o 哈 欄涌 ~ 豈今で曜講座 豨 にと
 MoM"TrOTwÂµÄ,•loM‡b 。
 新井 !iã i配信 x 、2004年 t 香川県
 立丸亀高校 w先生 T'wæ «µÄp始 ‡“
 ‡`h 。当時 q`ox 先進的 p`h 。去年 ‡
 仕 px、高校 w先生方 Uí`ip 受信`、視 豨 ば
 聴覚室 srwµ «æ"i 投影`o 高校生 t
 見 doM‡`h 。hi、\•iq 休校中 x 受
 講 pVsMwp、今年 x ç£ĪÆ"p
 w配信 w^t 変更`‡`h 。協定校 w生徒 x
 6€ど婆翁 自宅 T'受講`、質疑応答 t 参加 pV‡b 。
 ZÆ Æ ...diææ 専ら 講高校性 iDw 先生方 尺 RçD•p¥ÄäÜ 7@



創立以来、東京大学が全学をあげて推進してきたリベラル・アーツ教育。その実践を担う現場では、いま、次々に新しい取組みが始まっています。この隔月連載のコラムでは、本学の構成員に知ってほしい、教養教育の最前線の姿を、現場から語ります。

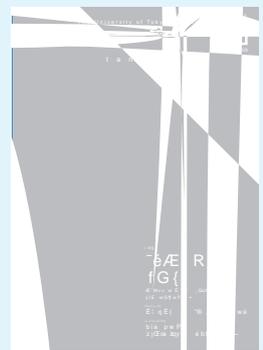


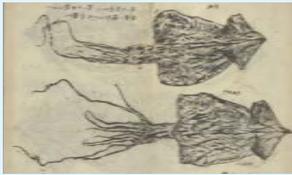




CLOSE UP

東京大学広報室が丹精をこめて年に2回発行している広報誌「淡青」の最新号ができました。今号の特集は「コロナ禍と東大」。このおよそ半年間に東京大学の各現場で行われてきた取組みの数々を記録し、ウィズコロナ時代の大学の活動とはどんなものなのかを考えるきっかけを提供します。総長が今年度の授業開始を遅らせる選択肢を考えなかった背景とは？ 学事暦どおりに5000超の授業をオンラインで展開できた要因とは？ 大学の専門家たちが公衆衛生の現場に向いて果たした役割と





総合図書館では、2018年にインターネット公開を始めた「田中芳男・博物学コレクション」に、このほど9点の資料を追加しました。追加した資料には、日本各地の農産物や生産品などを一枚に図解した「教草^{おしえくさ}」や、日本全国のスルメに関する資料となる「錫帖^{すゐめじょう}」を含みます。「錫帖」は、全国各地のスルメの撮写図（フロッタ

ージュ）を大量に収録し、イカの名前、産地、出品者、日付、大きさ、重さ、特徴などの説明が付されたものです。「田中芳男・博物学コレクション」は、江戸末期から大正初期に至るまでの時代の息吹を伝える貴重な資料です。利用目的を問わず、特段の手続きなく自由に利用することが可能です。どうぞご利用ください。



8月7日、理学系研究科附属臨海実験所（三崎臨海実験所）で教育棟の完成披露式典が行われました。新棟は、旧水族館と記念館（旧本館）という歴史的建物の伝統を引き継ぎ発展させることを目指して建設されました。「海のショーケース」と名づけられた1階展示室には、旧建物で利用・保存されていた標本や物品を展示。

入口には記念館時代の銘板が移設されています。相模湾から採集された海洋生物を間近に見られる水槽コーナーや、地元の高専等との連携で進む三浦真珠プロジェクトに関連した展示もあり。学生の実習や国内外の研究者との共同研究の場として、そして地元コミュニティや産業界との連携拠点としての発展が期待されています。
